

第10回

坂下高校MSリーダーズと、坂下地区地域安全指導員、交通安全協会坂下支部役員との交流会

坂下高校MSリーダーズと、坂下地区地域安全指導員、交通安全協会坂下支部役員との交流会が、6月20日、本校で開催されました。

今回10回目となる今年のテーマは「あいさつ」。MSリーダーズ15人、安全指導員、支部役員11人のほか、中津川署や東濃教育事務所など関係機関の代表者も参加して、積極的な交流が行われました。

参加生徒は、異世代交流を通して、さまざまな世代の人たちの挨拶への想いを肌で感じ、地域の人たちに見守られながら学校生活を送ることができることへ、感謝の気持ちを抱くことができました。



▲全体の様子

内容

前半 | 学校紹介

本校のMSリーダーズから、生徒会や家庭クラブの活動について紹介しました。

後半 | グループ交流 ~あいさつについて~

今年度のあいさつ運動への協力をお願いすると共に、昨年度のあいさつ運動に参加された際の印象や、挨拶の意義について、グループごとに交流を行いました。



昨年度の印象

- 始めは下を向いていたが、少しずつ顔を上げて元気に挨拶してくれるようになった。
- 慣れてくると挨拶をしてくれた。目を見て挨拶をしてほしい。
- 良い活動なので継続してほしい。生徒会がもっと元気に笑顔で挨拶をしてほしい。

あいさつとは

- 挨拶は基本的なマナーであるが、人間関係を広げるとともに相手を動かす力がある。
- 仕事をする上で挨拶をするのは当たり前。挨拶ができていなかったため、仕事が辛い時もあった。だから、学生のうちにきちんと身につけてほしい。
- 挨拶の出発点は家庭。家庭で挨拶ができていれば外でもできる。

今後の心掛け

- 挨拶は第一印象を決める。目を見て元気よく、笑顔で挨拶をしたい。
- 挨拶されるのを待つのではなく、自分から積極的に挨拶をしてほしい。
- 最初は声を出さなくても、頭を下げるだけでも良い。自分が感じたことを共有しながら、段階を重ねて、理想に近づきたい。
- 決められた期間にあいさつ運動をすることは、誰のためにもどんな意味をもって行っているのか明確にすることが必要。あいさつ運動でしっかり挨拶を返してもらい、日常の挨拶を習慣づけることにつなげたい。

